

学校名	岐阜県立岐阜聾学校
所在地	岐阜県岐阜市加納西丸町1-74
電話	058-271-3700

1. 本校の概要

本校は、岐阜県唯一の聴覚障害教育機関で、創立70年の歴史をもち、幼稚部から高等部までの4学部を有し、85名が在籍している。

現在、教育用ネットワークの環境整備と授業活用、また定期的な居住地校交流や近隣の学校や地域の人との交流等特色ある教育の推進に努めている。

2 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

情報検索能力を高めるための読書活動は重要な課題で、読書活動のみならず文字情報盤を活用した情報提供等に、積極的に取り組んでいる。必要時にすぐ活用できる図書館を目指し、各学部ごと図書室とパソコン室をそれぞれ隣接して設置し、容易に多様な方法で求める情報の収集ができるようになっている。

10分間読書

中学部では、毎朝教室で10分間読書を実施している。読書の習慣が確立されていない生徒には、漫画本も認めている。



小学生新聞

図書委員会が中心となり毎朝内容を点検し、必要性や児童生徒たちの興味・関心に応じ、新聞コーナーに掲示したりするなど、最新情報を提供している。

読み聞かせ

絵本や紙芝居を活用し、教師による読み聞かせ活動を永年実施している。手話や指文字等も活用している。

本ごはん

三食のご飯の他に本も食べようと呼びかけ、寄宿舎でも読書活動を展開している。

情報機器活用

いつでも誰もが、パソコン活用ができるようになっており、昼休みや放課後等でも利用者でにぎわっている。

(3) 家庭との連携、地域との連携

高校生による読み聞かせ活動

高校生との交流活動の中で、手作り紙芝居による読み聞かせを行っている。



親子読書

幼稚部での読み聞かせ活動が、家庭での親子読書に発展し、親子の絆を深めるのに役立っている。

手話講座受講者による図書館活用

3. 成果と今後の課題

図書委員会発行の小学生新聞には、環境問題等社会の動向を身近に感じさせる工夫がある。新聞を通して児童生徒の興味・関心を促すことができ、総合的な学習にも発展した。また、校内の活動が交流活動に広がっていることから、読書活動が児童生徒の「生きる力」をはぐくむことにつながってきていることが分かる。

今後は、新刊書籍の充実に努めるとともに、朝の10分間読書などの読書推進活動を定着させ、読書のすばらしさを伝えていきたい。